



観音寺 市議会だより

表紙：観音寺第一高校 題字：書道部 絵・レイアウト：美術部



ミライエ

Kanonji City Council No.9 2016.5.1

平成28年3月議会

平成27年度補正予算決まる
平成28年度予算決まる

文化芸術拠点施設整備事業費の減額補正は継続審査
一般質問から見える市の課題



検索

観音寺市議会

平成27年度一般会計補正予算を可決

一般会計 277億7,397万9,000円（7億1,624万1,000円追加補正）

主な事業

●アニメコンテンツ活用地域活性化事業 2,280万円

アニメコンテンツを活用したコンテンツツーリズムの推進や市のPRのための環境整備を官民協働で行う。観音寺市を舞台にしたアニメ「結城友奈は勇者である」を活用し観音寺市とコラボPRや交流人口を増やす聖地巡礼に向けた体制づくり、地元企業との限定商品開発などに取り組みます。

●番号システム運営管理費 1億1,291万円

●のりあいバス運行事業 831万円

●年金生活者等支援臨時福祉給付金 1億8,050万円

●観音寺ブランド認証推進事業 210万円

観音寺産の農林水産物やその加工品を市独自の基準により「観音寺ブランド」として認証し、高付加価値の産品として売り出す（情報発信・商談会への出展補助等）ことで販路拡大を支援します。



定例会が1日から28日までの28日間の会期で開かれた。一般質問は、8日に代表（4人）、9日に個人（11人）が市政について質した。

当局提出議案の内、条例関係26件（追加1件含む）、その他5件は各常任委員会に、新年度予算等20件追加1件を予算審査特別委員会に付託し審査した。

最終日に、各委員会付託議案は、平成28年度補正予算（第1号）を除き、可決された。また、副市長の選任議案については同意、意見書2件については採択となったが、請願1件は不採択となった。

平成28年度予算決まる

一般会計295億8,000万円（前年比34億2,000万円増）
過去最大規模の当初予算

今年 の 主 な 事 業



▲新市民会館工事の様子

●新市民会館建設事業

48億7,886万円（全体事業費約67億円）

平成29年4月開館予定

●南部地区幼稚園建設事業 1億5,583万円

柞田、豊田、一ノ谷幼稚園を統合する新幼稚園の基本設計、実施設計及び造成工事

●第3子以降保育料無料化（市負担額 約9,400万円）

第1子の年齢に関係なく、第3子以降の保育料を無料化



●運動公園施設設備改修事業 2億9,992万円

陸上競技場の走路を全天候型に改修

●地域密着型サービス等整備事業 6,277万円

(介護保険施設の開設準備経費補助等)

●同報系デジタル無線整備事業 1億2,077万円

土砂災害警戒区域等へ防災行政無線の個別受信機を貸与
個別受信機の設置希望者へ設置費補助

●文化芸術拠点施設整備事業

当初予算(9,805万円)賛成12人、反対7人で可決

昨年採択した「中国銀行旧観音寺支店の有効活用を求める
請願」の趣旨をふまえ、提案

予算の内訳 土地建物取得費 500万円

改修費 8,780万円

設計委託費他 525万円

減額補正予算

(8,830万円減額、975万円は予備費へ) 継続審査

土地建物の取得が困難となったため



▲改修予定の陸上競技場



▲防災無線

予算審査特別委員会での主な意見

●番号システム運営管理費

反対意見 多額の費用が必要。個人情報連携されていくと、情報漏えいのおそれがある。

●公金決済サービス導入事業

反対意見 コンビニ収納は、あまり活用されないし、広がり疑問。

賛成意見 平日に納めづらい方が多く、24時間納付可能となり、利便性が高くなる。

●公衆用トイレ整備(都市整備課分)

必要性は認めるが、工事費29,751千円は、面積の割にあまりに高額であり、便器の設置数が少ないとの意見が出された。「工事費の見直しや利用者の利便性を含めた総合的な観点から再検討を行い、その結果を議会に報告し、議会の意見を聴取すること。」とする附帯を附して可決。

議員提案意見書2件は全会一致で採択

●ヘイトスピーチ対策に関する意見書

国に対して、表現の自由に配慮しながらも、ヘイトスピーチに関して早急な対策を求める。

●県立三豊工業高等学校跡地の活用を求める意見書

県に対して、観音寺中央高等学校との統合後の跡地を、地域医療の発展に寄与する施設としての活用を求める。



大賀正三
民政クラブ

本市の財政事情について

答 弁

健全な財政運営に努める

【質問】本市の大型事業の完成予定、また償還が始まるまでの財政事情の見通しについて伺う。
 【答弁】新庁舎建設事業や新市民会館建設事業などが完成する平成28年度末における市債残高は約396億円の見込みで、市債の元利償還金は、平成34年度にかけて増加傾向となるが、それ以降は減少の見込み。市債の8割は、合併特例債、臨時財政対策債などの有利な起債であり、今後とも国や県の補助金などを有効に活用しつつ、自主財源の確保にも努め、健全な財政運営に努める。

市民サービス充実について

答 弁

市民の要望を反映し対応

【質問】新庁舎が完成し、ふさわしい市民サービス充実に対する取り組みについて伺う。
 【答弁】行政として、市民に親しまれ、信頼される環境づくりに取り組むべき。各支所と共に窓口を中心とした「誠実・迅速・公正」な対応に向け、接遇力の向上を組織目標として取り組んで行く。関係部署との連携により、年度末・年度初め、就職・転勤など各種手続きが必要な方への、日曜開庁、平日業務時間延長など、更に充実を図る。また、行政運営の支えの自治会組織への運営補助、自治会要望への対応に努め、地域協働のまちづくりの推進を図る。のりあいバスについても市民の要望を反映しつつ、広域生活圏に対応した公共交通網となるよう運行形態の見直しを図る。



井上浩司
友志会

C型肝炎ウイルス治療について

答 弁

制度についての啓発を実施

【質問】国内のウイルス感染者は、150万、200万人といわれ、主な治療薬は、患者の免疫力を高める作用を持つインターフェロンの注射とされてきたが、副作用がきつくと、治療期間も半年から1年と長期にわたる。
 しかし、C型肝炎の特効薬が発売され、大きな副作用もなく、治療期間も12週間と短く、患者の方にとっては朗報である。この薬によりC型肝炎が治癒されることになれば、中長期的に医療費の削減が図れるものと考ええる。

【答弁】C型肝炎は、肝炎を起こすウイルスの感染により、6カ月以上にわたって肝臓の炎症が続き、細胞が壊れて肝臓の働きが悪くなる病気で、放置しておく、長い経過のうちに肝硬変や肝がんに行進しやすいことが知られている。平成27年度現在、観音寺市において59名の方が、自己負担が最大2万円で受けられる香川県肝炎治療特別促進事業の助成を受けて治療している。

この制度を利用することによりC型肝炎が治癒されると肝硬変、肝がんといった重篤な病態を防ぐことが可能となり、医療費の抑制にもつながるので、県や医師会などと制度についての啓発をしていく。



大久保隆敏
立志会

土地改良事業の補助率アップを求める

答 弁

平成28年度にアップ実施

【質問】農業は本市の基幹産業である。最近、農業に意欲を持った若者が増加しており、担い手農家に生産拡大・競争力強化を図ってほしい。そこで、農作業の効率化や高品質の作物生産のためには、圃場整備や水路・農道の改修が必要である。市も応分の補助を出しているが、これらの事業推進を図るため、補助率アップを考慮すべきではないか。

【答弁】農業環境は厳しく、今回、農業振興のため土地改良事業の市補助率を見直す。単独県費土地改良事業は市補助を35%、県補助と合わせて85%補助、農家負担は15%。集落営農推進生産基盤整備事業は市補助を30%、県補助と合わせて90%補助、農家負担は10%。国庫補助事業の農地耕作条件改善事業と農業基盤整備促進事業は市補助を20%、国・県の補助と合わせて95%補助、農家負担を5%とする。また、ストックマネジメント事業は市負担を17%、国・県の補助と合わせて92%補助、地元負担を8%に見直し、農業支援に努める。





石山 秀和
公明 党

産業振興について

答 弁 年内に第一回観音寺ブランド
製品の認証を実施

【質問】 昨年の12月議会で、「観音寺ブランド認定制度」の概要が発表され、平成28年度から具体的な取り組みがスタートするとある。認定制度の具体的内容について伺う。

【答弁】 新年度早々に観音寺ブランド認証委員会を設置し、認証基準、認証ロゴマークを決めるなど認証実施に向けての制度整備を行う。そして、年内に第一回目の観音寺ブランド製品の認証を行いたいと考えている。

観音寺ブランドに認証された場合のメリットは、認証ロゴマークの使用や市ホームページやフェイスブックでの認証製品の紹介、また千葉の幕張メッセで開催されるスーパーマーケット・トレードショーへの出展支援が受けられるなどブランド認証製品としての情報発信や販路拡大などの支援が受けられる。

今後、このブランド認証制度を確立させ、充実を図ることによって、観音寺ブランド認証製品はもとより観音寺市の認知度アップ、そして、本市農林水産業などの産業振興・活性化につなげていきたい。



大矢 一夫

交流人口の増加の現状と 対応について

答 弁 シティ・プロモーション活
動に取り組み受入れ態勢や
環境の整備を行っていく

【質問】 現在どのように対応しているか。またサッカー、トライアスロンなどスポーツで交流人口が増えている。施設整備をすればもっと交流人口が増えるがこれからのようにしていくのか？

【答弁】 平成26年度から、東京・大阪において本市の特産品の紹介、観光情報の提供、移住相談などを同時に行うシティプロモーション活動に取り組んでいる。マスコミ・SNSなどさまざまな媒体で本市のPRを行い、情報発信に務めている。受け入れ態勢や環境を整備、スポーツ大会の開催や合宿の誘致など滞在していただける取り組みを進めたい。

Myカルテのこれからの活用について

答 弁 健康に関する意識の向上
を図れるよう努力する

【質問】 これからの活用について伺う。

【答弁】 平成26年度より妊娠届受付の際、母子健康手帳発行時にMyカルテを発行している。Myカルテ運営会議で内容充実や活用の検討をしている。健診時のBMIだけでなく、予防接種やアレルギー、保育所や幼稚園などの健康診査や食育の記録なども、家族が記入しながら、健康に関する意識の向上を図れるよう活用促進を図っていく。



諫問 茂

公民館・公的施設・自治 公民館のトイレについて

答 弁 28年度も順次整備していく

【質問】 公民館・公的施設・自治公民館のトイレは、平成27年度は当局の努力により、保健センター、木之郷公民館に温水洗浄便座が設置され、利用者に喜ばれている。

自治公民館も10カ所温水洗浄便座が設置され地域の人たちから感謝されている。

新年度も温水洗浄便座化に努力されると思うが、今後の計画について伺う。

【答弁】 公民館のトイレは、平成28年度予算において洋式トイレを中心に予算の範囲内で順次温水洗浄便座を整備していく予定である。

観音寺市総合運動公園・観音寺市立総合体育館は高齢者が快適に利用できるよう和式便座の一部を洋式便座に変更。体育館などの室内に設置のトイレは温水洗浄便座の設置を進める。

自治公民館についても引き続き温水洗浄便座化等の補助を実施する。





篠原 和代

保育料の無料化について

答 弁 第3子以降の保育料の完全無料化

【質問】国・県の取り組みを踏まえての本市の第3子以降の保育料の完全無料化について今後の計画・対象者など、具体的に伺う。

【答弁】国・県は所得制限を設けての無料化制度だが、本市は、平成28年度から、年齢制限の撤廃、所得制限も設けず、生計を一にする第3子以降の保育料の完全無料化を実施する。

子どもの遊び場などについて

答 弁 活用されていない公共施設で検討

【質問】本市には、公園緑地等などが多数あり、気候のいい時に出掛ける場所は多々あるが、屋内で親子などが楽しく触れ合える場所がほとんどない。統廃合などで使用していない公共施設の有効活用の一つとして、雨天時とか屋外で遊ぶことが厳しい時、親子で触れ合い交流の持てる施設として活用することについて伺う。

【答弁】今後活用されていない公共施設を子どもたちの遊びや学べる場所や母子の交流・子育て相談などのスペースとしての活用について、調査・研究を行い、適正な活用の検討を進める。



大平 直昭

燧望苑の案内標識設置

答 弁 設置に向けて、引き続きお願いしていく

【質問】地元自治会との協議により、案内標識は設置しないということになっているが、やはり案内標識は必要だと考える。設置できるようさらなる協議を。

【答弁】初めての方や遠方の方からの、場所などの問い合わせもあり、行政サービスの観点からも、設置に向け地元へ相談を持ちかけてきたが、まだ設置できていない。引き続き地元と協議しお願いをしていく。



▲案内標識イメージ

答 弁 早期の創設を検討していく

【質問】農地の有効利用と遊休 荒廃農地対策のため、「農地を貸したい・借りたい」などの情報をインターネットなどで紹介する「空き農地情報バンク制度」を創設してはいかがか。

【答弁】「空き家バンク」と併せた「空き農地バンク」の創設は、市外からの新規就農者の確保、定住促進にとって有効な方策と思われる。早い時期の創設に向け十分に協議・検討していく。



友枝 俊陽

各校区の危険箇所整備は

答 弁 本年から2校ずつ総点検を実施し計画的に対策や整備を行う

【質問】通学路を中心に危険箇所が各所にあり、PTAや学校、自治会などから整備の要望があるが、その対応を伺う。

【答弁】毎年1校ずつ、学校の交通安全総点検を実施してきた。平成28年度からは観音寺市通学路交通安全プログラムを策定し、毎年2校を対象に通学路の安全点検を行い、点検箇所対策の検討・調整を行う。

答 弁 膨大な費用とかなりの時間を要する

【質問】大野原小学校区の花稲・下組地区の児童が通学する市道は一部区間と国道付近以外に歩道がない。何らかの対応と、長期的な整備計画が必要だと思うが考えを伺う。

【答弁】市道曼蛇支線は多くの児童が通学する路線であるが、住家が連単し、歩道整備には膨大な費用が必要となる。現在は小学校に近く児童が集中する地域から歩道整備を順次行っており本路線の整備にはかなりの時間を要する。本年度は地元要望に対応し、路肩拡幅により歩行者の安全確保となるよう、一部区間で側溝蓋の設置を行う。今後は、グリーンベルトなどの路面標示や水路の改修など局所的な改良や交通規制などのソフト対策も検討し、歩行者の安全確保を図りたい。



篠原重寿

地震災害から命を護る 取り組みの強化策を

答 弁 補助制度を見直し、耐震対策の促進に努める

【質問】地震への対策は、住宅の耐震補強が重要。補助制度の利用状況と、補助基準緩和の動きを伺う。

【答 弁】耐震診断20件、補強5件程度で、毎年横ばいの状況。県が平成28年度から、補助対象の拡大と、耐震シエルトへの助成を開始。市も制度拡充および、広報活動に努め、耐震化の促進に努める。



高齢者・障害者の支援策として、 家庭ごみ戸別収集を

答 弁 関係部署と協議する

【質問】市の高齢化率が30%を超え、その内、要介護者にとって、ごみ出しが困難となる。障害者に対する施策としても、戸別の収集を導入すべき。

【答 弁】行政サービスの一環として、関係部局と連携し、環境衛生組合などとの協議を進める。



伊丹 準二

瀬戸内国際芸術祭について

答 弁 来訪者の増加に努めていく

【質問】前回の反省を踏まえた今回の瀬戸内国際芸術祭の取り組みについて伺う。

【答 弁】アート以外に、いりこの島など、いろいろな見せ方や情報発信で、来訪者の増加に努めていきたいと考えている。

市民会館周辺の今後の整備について

答 弁 平成28年度末に完成予定

【質問】市民会館周辺の今後の整備について伺う。

【答 弁】市民会館及びその関連事業は平成28年度末に完成予定。総事業費は、用地補償、工事費他設計監理委託料などを含め、約81億8,000万円の見込み。七間橋工区は約3億7,000万円の事業費を見込んでいる。

合併10周年の総括について

答 弁 さまざまな施策に取り組んできた

【質問】合併後10年を経過し、当初5年を目標に解消されるとした地域間格差の解消など、この10年を顧みての考えを伺う。

【答 弁】これまでの10年は、誇りの持てるまちづくりを目指し、市民と協働の合併記念事業や国際音楽フェスティバルの開催など、地域間格差の是正を図るために、さまざまな施策に取り組んできた。今後も市全体を見渡す中で、施設の老朽化や必要性などを考慮し、計画的に整備を進めてきた。今後も市の一体的発展を図るための取組を進めていく。



藤田 均

新南部幼稚園開設までの間、 3歳児保育室の設置を

答 弁 両地域の3歳児は、近くの幼稚園を利用してほしい

【質問】一ノ谷・豊田両幼稚園は、幼稚園の3歳児保育が未実施で、1年だけ他園を利用する。3年間は空き室活用で3歳児保育室を開設できないか？

【答 弁】教員の確保や環境整備を考慮して実施していない。今後の実施も困難。

3園は今後3年も業者弁当。給食の試食会を年10回に

答 弁 現在の回数が限度

【質問】3園は統合まで、3年間も弁当給食。食育のために給食試食会を増やせないか。

【答 弁】3園では小学校就学前の園児に給食の仕組みや味、量などを体験するため、試食会を実施。現在の年7回が限度。

全県広域水道は、香川用水中心で 水不足は大丈夫か？

答 弁 夏の水不足を考えると、
香川用水への依存は重要

【質問】四国新聞のアンケート結果で香川で住む1番の不安は、「水不足」と出た。香川用水に依存度の高い所ほど不安度も高いが？

【答 弁】広域水道事業体設立準備協議会で、自己水源と香川用水とのバランスを考慮することで協議を進めている。新たに2市が参加し、更新計画を變更中。





安藤 康次

鉛製給水管について

答 弁
鉛管引替工事費の助成金
制度の実施を検討

【質問】配水管から水道水を住宅内に引き込むための鉛製給水管は多くの家庭で使用されている。鉛は毒物であり水道水に溶出し、人の健康に影響が出るといわれている。鉛管引替工事助成金交付制度を提案する。

【答弁】過去の台帳などをもとに市の鉛製給水管残存数は平成27年12月1日現在約10、600件で、残存率は約34・6パーセントである。今後、鉛製給水管の早期解消を促進するために市民への情報提供として、水道引き込み管が鉛製と思われるお宅に3月末頃から通知する。鉛管引替工事助成金制度は香川県内では、高松市と東かがわ市の2市が実施しており、丸亀市では鉛管引替工事での必要な材料を支給している。鉛管の周知が完了したのち、給水管引替工事費の助成制度の実施を考えており、平成28年度予算に計上している。



高橋 照雄

中国銀行旧観音寺支店の購入と、公共施設等管理計画との整合性を伺う

答 弁
基本的な方針に基づき市
全体として必要性を検討

【質問】今議会で約1億円の費用を投入し、購入予定の昭和45年に建築、築後45年にもなる耐震補強しなければ公共施設として利用できない中国銀行旧観音寺支店の土地建物について。観音寺市公共施設等総合管理計画では、

財政的にも、現有する298公共施設についても、その削減の必要性に迫られる厳しい現状下であるとのこと。その整合性を伺う。

【答弁】市公共施設等総合管理計画は本市の公共施設の全体について、長期的な視点で更新や統廃合、長寿命化などの管理運営に係る基本的な方針を定めたものである。基本的な方針として、必要なサービスを提供できる施設を確保したうえで、類似施設の統廃合、民間への売却などにより、本計画期間である平成56年度までに公共建築物の総量を20%削減することを目標としている。個々の施設については基本的な方針に基づき市全体として必要性を検討し、建替や購入も含め整備を進めていく。整合性に不備はない。



五味 伸亮

稲積山を新たな市の観光資源としての位置づけを

答 弁
積極的にPRしていきたい

【質問】①稲積山には桜の中で勇壮に舞う、ちようさ祭が有名な高屋神社がある。山頂には本宮があり、地元地域で最も大切にされてきた場所でもある。林道が整備され、車での参拝が可能になり、地元以外にも多くの方が訪れて、絶景に感動した様子が、口コミやSNSを通じて広がりを見せている。2年前には山頂に電気がつながり、2月には地元の悲願であった山頂展望台とトイレが完成した。本市の新たな観光資源としての位置づけと情報発信を伺う。

②林道は三豊市を走っており、不動の滝周辺の案内看板も簡易で分かりにくい現状にある。山頂からの景色は、荘内半島や三豊平野も素晴らしいものがある。林道の維持管理と案内看板の設置を両市の観光資源としての活用も含めて連携を図るべきだと思いが、考えを伺う。

【答弁】①自治総合センターのコミュニティ助成事業を受け、山頂休憩所を設置した。またドライブ客などが多く来られるようになり、利便性、快適性の向上を図るため公衆トイレを整備した。この整備を機に本市の観光スポットとして積極的にPRしていきたい。

②案内看板の設置や林道等の維持管理について、三豊市と協議していきたい。

掲載できなかった一般質問

代表質問

氏名	質問件名
大賀 正三 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> ● 施政方針について ● 本市の地方創生施策について ● 福祉事業の重点施策について ● 地域活性化事業と農業施策について ● 道路等の状況と長期整備計画について ● 広域水道事業の検討状況と今後の見通しについて ● 教育施設の整備状況と今後の計画について
井上 浩司 (友志会)	<ul style="list-style-type: none"> ● 施政方針について ● ふるさと納税について ● 防災クラブの設置等について ● 子育て支援について ● 母子世帯への支援について ● 重大疾病対策について ● 在宅医療の推進について ● 新公立病院改革プランについて ● 空き家対策について

氏名	質問件名
大久保隆敏 (立志会)	<ul style="list-style-type: none"> ● 政治姿勢について ● 身の丈にあったまちづくりについて ● 平成28年度予算について ● 市債について ● 人口減少について ● 防災行政無線について ● 廃校の活用について ● のりあいバスについて ● 空き家について ● 健康増進について ● 介護保険について ● 姉妹都市について ● 水道事業について ● 公共下水道について
石山 秀和 (公明党)	<ul style="list-style-type: none"> ● 施政方針について ● 財政について ● 文化・芸術政策について ● 防災・防犯対策について ● 市民生活に寄り添う相談体制作りについて ● 環境対策について ● 教育行政について

個人質問

氏名	質問件名
詫間 茂	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護士不足について ● 老人の貧困について ● 鳥獣駆除について ● 健康ポイントについて
友枝 俊陽	<ul style="list-style-type: none"> ● 合併10周年記念事業について ● 市の3大まつりやイベントにおける運営について ● 入札について
篠原 重寿	<ul style="list-style-type: none"> ● 施政方針について ● 幼稚園・保育所現場について

氏名	質問件名
藤田 均	<ul style="list-style-type: none"> ● 5歳児健診の実施について ● 中学生以下の子どもへのインフルエンザ予防接種費用の助成について ● 要支援者対象の新総合事業について ● 定住促進対策の強化と農業などの地場産業支援の一体的強化について ● 市の指定管理施設の委託先の労働条件について
高橋 照雄	<ul style="list-style-type: none"> ● 財政について
五味 伸亮	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設等のWiFi環境整備について ● 瀬戸内国際芸術祭について ● 障がい児の短期入所（ショートステイ）について ● 観音寺市総合運動公園の施設整備とスポーツ合宿誘致について ● 中小企業振興と人口減少対策について

総務 常任委員会

3月14日開催

市民部2議案、政策部14議案、総務部8議案、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

建設経済 常任委員会

3月11日開催

農業委員会事務局1議案、上下水道部1議案、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、請願1件が附託され、審査の結果、不採択となった。

請願審査

森林・林業政策の推進を求める意見書の提出を求める請願

山村地域の再生、地域経済の活性化のため、森林・林業施策の推進を求める意見書を国に提出するよう求めるもの。

主な意見

「木材自給率を上げて山の仕事で生活できる人を育てていく

必要もあり、そのためにも、国の施策また行政の方からも、バックアップしていくことが重要である。」

「林野庁の労働組合の方が林野庁長官に対して、林業施策の推進をしてほしいというのほどうか」

「山村地域で雇用を生むためには何をするのか裏付けがないところには、国は助成しないのではないか」

採決

不採択（賛成3人、反対3人により委員長裁決）

文教民生 常任委員会

3月10日開催

健康福祉部2議案、教育委員会3議案、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定した。

主な意見

「豊浜総合体育館（すぽんコミュニティーセンター）の指定管理者の指定について、管理運営に係る収支等を精査し、当該指定管理者と交渉していただきたい。」

4月より会派構成が次のように変わりました。

■民政クラブ

役	職	氏名
顧問		秋山 忠敏
会長		大賀 正三
幹事	長	立石 隆男
政務調査会	会長	伊丹 準二
会計	幹事	篠原 和代
会	員	安藤 康次
	〃	井下 尊義
	〃	友枝 俊陽
	〃	豊浦 孝幸

■立志会

役	職	氏名
会長		大久保 隆敏
副会長		五味 伸亮
幹事	長	高橋 照雄

■友志会

役	職	氏名
会長		大平 直昭
政務調査会	会長	井上 浩司

■自民クラブ

役	職	氏名
会長		大矢 一夫
幹事	長	詫間 茂

■公明党

役	職	氏名
代	長	安藤 忠明
幹	事	石山 秀和

■社会民主党

役	職	氏名
		篠原 重寿

■日本共産党

役	職	氏名
		藤田 均

審議結果

議案の審議結果 平成28年第1回(3月)定例会

●全会一致の議案

議案番号等	議案名	議決結果
議案第1号	地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例の制定について	原案可決
議案第2号	観音寺市附属機関設置条例の一部改正について	//
議案第3号	観音寺市行政手続条例の一部改正について	//
議案第4号	観音寺市行政不服審査会条例の制定について	//
議案第5号	観音寺市情報公開条例の一部改正について	//
議案第6号	観音寺市個人情報の保護に関する条例の一部改正について	//
議案第7号	観音寺市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正について	//
議案第8号	観音寺市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	//
議案第12号	観音寺市長及び副市長の給料の特例に関する条例の一部改正について	//
議案第13号	観音寺市教育委員会教育長の給料の特例に関する条例の一部改正について	//
議案第14号	観音寺市職員の給与に関する条例等の一部改正について	//
議案第15号	観音寺市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	//
議案第16号	観音寺市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	//
議案第17号	観音寺市庁舎改築整備基金条例の一部改正について	//
議案第18号	観音寺市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	//
議案第19号	観音寺市税条例の一部改正について	//
議案第20号	観音寺市手数料条例の一部改正について	//
議案第21号	観音寺市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正について	//
議案第22号	観音寺市空家等対策の推進に関する条例の制定について	//
議案第23号	観音寺市農業委員会の農地部会その他の部会を構成する委員の定数に関する条例の廃止について	//
議案第24号	観音寺市郷土資料館条例の一部改正について	//
議案第25号	観音寺市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	//
議案第26号	農業委員の任命について	同意
議案第27号	辺地に係る総合整備計画の策定について	原案可決
議案第28号	香川県広域水道事業体設立準備協議会規約の一部を変更する規約について	//
議案第29号	指定管理者の指定について(健康交流施設「おおのはら」)	//
議案第30号	指定管理者の指定について(観音寺市民会館)	//
議案第31号	指定管理者の指定について(豊浜総合体育館)	//
議案第33号	平成27年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	//
議案第34号	平成27年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計補正予算(第2号)	//
議案第35号	平成27年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	//
議案第36号	平成27年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	//
議案第37号	平成27年度観音寺市航路事業特別会計補正予算(第2号)	//
議案第38号	平成27年度観音寺市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	//
議案第40号	平成28年度観音寺市施設貸付事業特別会計予算	//
議案第41号	平成28年度観音寺市国民健康保険事業特別会計予算	//
議案第42号	平成28年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計予算	//
議案第43号	平成28年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計予算	//
議案第44号	平成28年度観音寺市介護保険事業特別会計予算	//
議案第45号	平成28年度観音寺市航路事業特別会計予算	//
議案第46号	平成28年度観音寺市粟井財産区特別会計予算	//
議案第47号	平成28年度観音寺市粟井坂瀬山林特別会計予算	//
議案第48号	平成28年度観音寺市公共下水道事業特別会計予算	//
議案第49号	平成28年度観音寺市農業集落排水事業特別会計予算	//
議案第50号	平成28年度観音寺市水道事業会計予算	//
議案第53号	副市長の選任について	同意
意見書案第1号	ヘイトスピーチ対策に関する意見書	原案可決
意見書案第2号	県立三豊工業高等学校跡地活用を求める意見書	//

●賛否の分かれた議案

議案名等	議員名													議決結果							
	豊浦	篠原	友枝	井下	詫間	藤田	五味	篠原	立石	伊丹	安藤	大平	井上		大矢	大賀	秋山	石山	安藤	大久保	高橋
	孝幸	和代	俊陽	尊義	茂	均	仲亮	重寿	隆男	準二	康次	直昭	浩司	一夫	正三	忠敏	秀和	忠明	保隆	照雄	
議案第9号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	原案可決
議案第10号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	//
議案第11号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	//
議案第32号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	//
議案第39号	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-	●	●	//
議案第51号	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-	●	●	継続審査
議案第52号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	原案可決
請願第1号	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	-	○	○	不採択

※ 議長は可否同数の場合のみ裁決権があります。 ※ ○…賛成 ●…反対



西部養護学校生を招待

このほど、香川西部養護学校高等部の生徒7名を市議会に招待しました。

同校の窯業部から干支の申の置物を市議会に贈られたのが縁で、今後の励みにしてもらおうと安藤議長が招待しました。

生徒たちは、申の置物を製作するうえでの苦労話や就職が決まったことの喜びを報告しました。

議長から「一生懸命頑張り、やりがいのある仕事を見つけてほしい。将来に期待しています。」と激励しました。

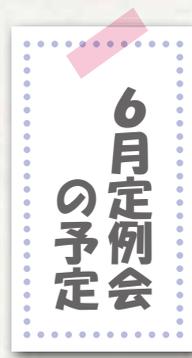
生徒たちは、議会の仕組みについて説明を聞いたり、本会議場を見学したりしました。



視察に来てくれました

- ◆平成28年1月27日
福岡県嘉麻市
議会運営委員会 …… 10名
「議会の活性化について」
- ◆平成28年2月9日
滋賀県守山市
公共施設調査特別委員会 …… 9名
「新庁舎の建設までの経過と新庁舎の機能について」
- ◆平成28年4月11日
香川県善通寺市
会派 志政会・公明党 …… 10名
「新庁舎建設事業について」

24日	22日	20日	17日	16日	13 〜 14日	6日
本会議	全員協議会	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議（一般質問）	本会議



訂正のお詫び

平成28年2月1日発行のミライエ第8号の11ページ、ヨネッツこちらの指定管理委託料、平成27年度9,064万円は9,064千円の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

新しい年度の始まりお気付きでしょうか。表紙が変わりました。来る参議院選挙、十八歳から投票です。そこで、新しい有権者地元四校の高校生に表紙をお願いしました。その中から順次四点を表紙とさせて頂きます。どうぞ、ご期待下さい。



編集後記

委員長 伊丹 準二
副委員長 石山 秀和

篠原 重寿
大平 直昭
井下 尊義
五味 仲亮
豊浦 孝幸

広聴広報委員会



古紙配給率70%再生紙を使用しています



この議会だよりは環境にやさしい植物油インキを使用しています。